

— 令和5年度赤十字血液シンポジウム —

# 第34回北海道輸血シンポジウム

## テーマ「輸血医療・細胞治療の新時代」

開催日：2023年7月7日(金)・8日(土)

会場：日本赤十字社北海道ブロック血液センター3階研修室(Web併用)  
(札幌市西区二十四軒2条1丁目1番20号)

### ▶ 7月7日(金)

13:00-13:05 **開会の挨拶** 鳥本 悦宏 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

13:05-14:25 **I 災害時対応と血液事業**

司会：皆川 信也(北海道赤十字血液センター)  
山本 清二(北海道赤十字血液センター)

1. 日赤の災害救護活動とリソース  
木津 泰俊 (日本赤十字社北海道支部)
2. 災害時の血液発注体制について  
村井 良精 (札幌医科大学附属病院)
3. 災害時の血液製剤供給体制について  
斉藤 和哉 (北海道赤十字血液センター)
4. 血液輸送におけるドローン利活用の現状とその可能性  
中田 悠太 (伊藤忠商事株式会社)

14:25-15:05 **トピックス①** 司会：紀野 修一 (日本赤十字社血液事業本部)

DMATと災害時の輸血医療  
岡本 博之 (手稲溪仁会病院)

15:05-15:20 **休憩**

15:20-16:25 **II 注目すべき感染症：その現状と課題**

司会：谷 慶彦 (日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所)  
松林 圭二 (日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所)

1. 献血者における感染症検査の現状  
岸本 信一 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)
2. 梅毒診療の現状  
高橋 聡 (札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座)
3. HIV感染症の現状と最近の話題  
遠藤 知之 (北海道大学病院)

16:25-17:05 **トピックス②** 司会：佐竹 正博 (日本赤十字社血液事業本部)

世界規模の流行に至った新興・再興ウイルス感染症：COVID-19とエムボックス  
西條 政幸 (札幌市保健福祉局 保健所)

## ➤ 7月8日(土)

### 9:00-10:55 Ⅲ 臍帯血移植の現状と臍帯血の活用

司会：木村 貴文 (日本赤十字社近畿ブロック血液センター)  
生田 克哉 (北海道赤十字血液センター)

1. 臍帯血バンクの現状と課題  
石丸 文彦 (日本赤十字社血液事業本部)
2. 臍帯血移植の実際  
齋藤 豪志 (旭川医科大学内科学講座病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科学分野)
3. 臍帯血造血幹細胞の組織修復能について  
保井 一太 (日本赤十字社近畿ブロック血液センター)
4. 新規医療モダリティを支える臍帯由来細胞リソース  
長村 登紀子 (東京大学医科学研究所附属病院)

### 10:55-11:05 休憩

### 11:05-11:45 トピックス③ 司会：宮田 茂樹 (日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所)

備蓄・緊急投与が可能な人工赤血球製剤の実用化を目指す研究  
酒井 宏水 (奈良県立医科大学医学部化学教室)

### 11:45-13:00 昼食

### 13:00-13:40 日本輸血・細胞治療学会北海道支部特別講演

司会：鳥本 悦宏 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)  
輸血後 B 型肝炎…撲滅への道のり  
佐竹 正博 (日本赤十字社血液事業本部)

### 13:40-14:40 Ⅳ 輸血医療における看護師の役割

司会：安村 敏 (日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター)  
荒木 あゆみ(北海道赤十字血液センター)

1. 臨床輸血認定看護師  
加納 瑞希 (札幌東豊病院)
2. 日本赤十字社血液センターにおけるアフエレーシスナーズの役割  
前田 絵美 (北海道赤十字血液センター)
3. 学会認定自己血輸血看護師としての取り組み  
高橋 理栄 (NTT 東日本札幌病院)
4. 在宅輸血の看護師の役割  
桜庭 良輔 (訪問看護さくらステーション)

### 14:40-14:50 休憩

### 14:50-15:50 Ⅴ 輸血検査に求められる精度管理・精度保証

司会：遠藤 輝夫 (北海道医療大学医療技術学部臨床検査学科)  
伊藤 誠 (北海道大学病院)

1. 赤血球型検査ガイドライン(改訂4版)改訂のポイントと精度管理  
三浦 邦彦 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)
2. 輸血検査と精度管理  
古村 博行 (株式会社イムコア)
3. ISO15189 認証下での輸血検査  
久保田 基路 (帯広厚生病院)
4. 医療機関における輸血検査のスキルアップを目的とした血液センターの取り組み  
平塚 紘大 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

### 15:50-15:55 閉会の挨拶

木下 透 (北海道赤十字血液センター)

参加は無料です。参加される方は、事前に参加申込をお願いします。

詳しくは、<https://www.bs.jrc.or.jp/hkd/bbc/news/> をご確認ください。

☆ 本シンポジウムは、次の制度の単位となります。

日本輸血・細胞治療学会が指定する認定制度、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度(予定)、  
北海道医師会認定生涯教育制度<sup>※</sup>、日本臨床検査技師会生涯教育研修制度(予定)<sup>※※</sup>

※ 本シンポジウムは北海道医師会の承認を得て、北海道医師会認定生涯教育講座(7.5単位)、  
カリキュラムコード：14(災害医療)・8(感染対策)・0(最新のトピックス・その他)・9(医療情報)  
11(予防と保健)・10(チーム医療)・7(医療の質と安全)として開催します。  
生涯教育制度の取得単位登録には、氏名以外に「**医籍登録番号**」が必要です。受付時に忘れずにご記入願います。

主 催：日本赤十字社北海道ブロック血液センター、日本輸血・細胞治療学会北海道支部、北海道輸血医療研究会  
後 援：北海道(予定)、北海道臨床衛生検査技師会(予定)、札幌市医師会(予定)